



2026年3月期
第1四半期
決算説明資料

富士興産株式会社
(コード:5009)

01 持続可能な成長戦略 ～長期ビジョンと3つの施策～

VISION

環境のグリーン化対応とエネルギーの安定供給を通じて
社会に貢献するグループであり続ける

VISION

STRATEGY

- ①環境対応型エネルギーのコアビジネス化の「加速」
- ②積極的な投資によるリサイクル事業の「拡大」
- ③着実な事業戦略の「推進」

STRATEGY

環境対応型事業のリーディングカンパニーを目指し

持続可能な成長に向けた

3つの施策

リサイクル事業でトップを走る環境開発工業の技術と知見をM&Aで全国に展開

環境対応型エネルギー(バイオ燃料・再生重油)
の全国製造及び販売のトップランナー

持株会社体制への移行による効率的なグループ経営

高配当方針の継続と成長事業への投資



持株会社設立(本年10月予定)後、新中期経営計画を発表予定

02 2026年3月期 第1四半期 決算内容

2026年3月期（4－6月）実績

経常利益

147 百万円

4-6月計画比 **(226%)**

当期純利益

127 百万円

(265%)

- ✓ リサイクル事業、ホームエネルギー事業、レンタル事業は好調に推移し、4-6月の経常利益 計画比226%、4-6月の純利益 計画比265%となった。

2026年3月期（4－6月）計画

経常利益

65 百万円

800百万円(通期計画)

当期純利益

48 百万円

500百万円(通期計画)

- ✓ 石油事業はバイオ燃料の製造設備コストの増加、環境関連事業であるメガソーラー事業は、発電機械の修繕や電力会社からの出力抑制が頻発した影響により、計画比、前年比共に下回る結果となった。

2026年3月期（4－6月）決算概要

（単位：百万円）

	2026年3月期 4-6月決算実績	2026年3月期 4-6月決算計画	達成率	2025年3月期 4-6月決算実績	前年対比
売上高	15,578	18,320	85%	14,852	105%
営業利益	149	60	248%	122	122%
石油事業	▲80	▲50	-	▲74	-
リサイクル事業	77	50	154%	69	112%
環境関連事業	24	30	80%	53	45%
ホームエネルギー事業	53	20	265%	22	241%
レンタル事業	74	10	740%	50	148%
経常利益	147	65	226%	128	115%
純利益	127	48	265%	140	91%

営業利益 ▲80 百万円

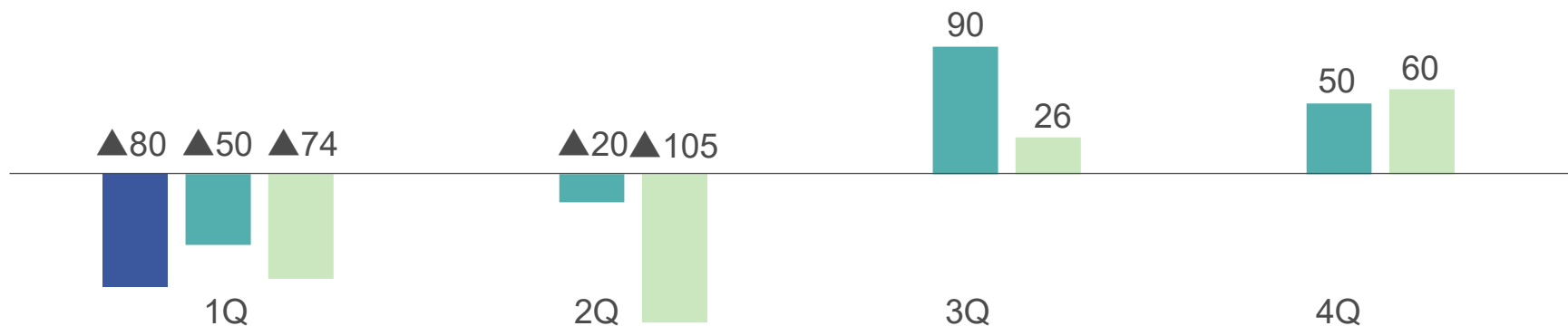
(計画比 ▲30百万円)

(前期比 ▲6百万円)

- 燃料油販売は、採算販売により、前年同期から17百万円の利益の改善が図れた。
- バイオ燃料販売は、設備コストが増えたため、利益計画未達であったが、建設現場向けを中心に販売が増加した。

四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位:百万円



営業利益

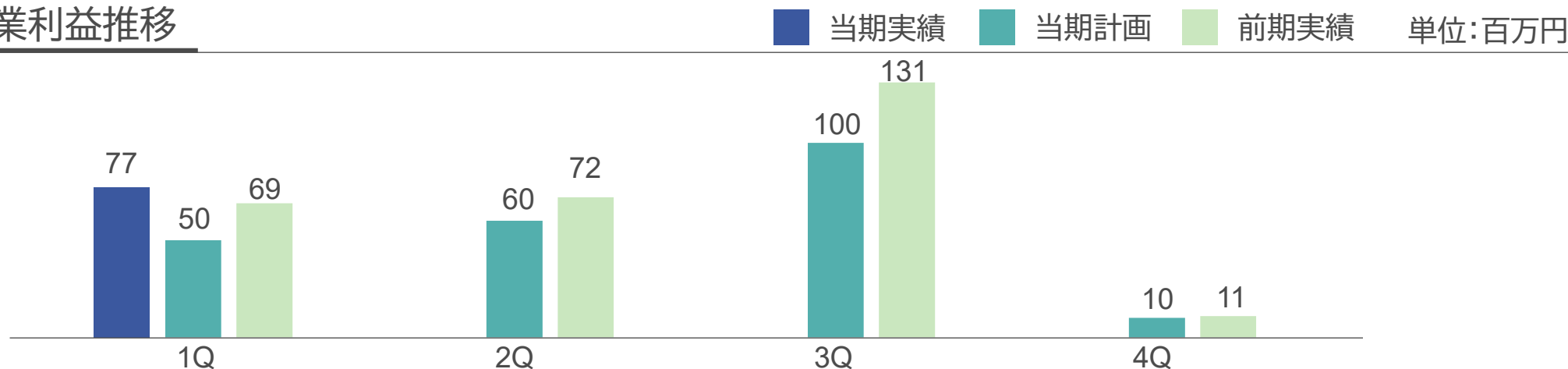
77 百万円

(計画比 +27百万円)

(前期比 +8百万円)

- オイルリサイクル事業は、計画通りの廃油を回収し、再生重油の販売につなげることで、利益計画を達成した。
- 環境リサイクル事業は、油漏洩事故への対応において、問い合わせ窓口を広げ、業務の効率化を図り、顧客満足度を高めることで受注が増加した。
- 通年における、利益目標達成に向け、新規商材を含め、新たな取り組みを積極的に実行していく。

四半期別営業利益推移



営業利益

24 百万円

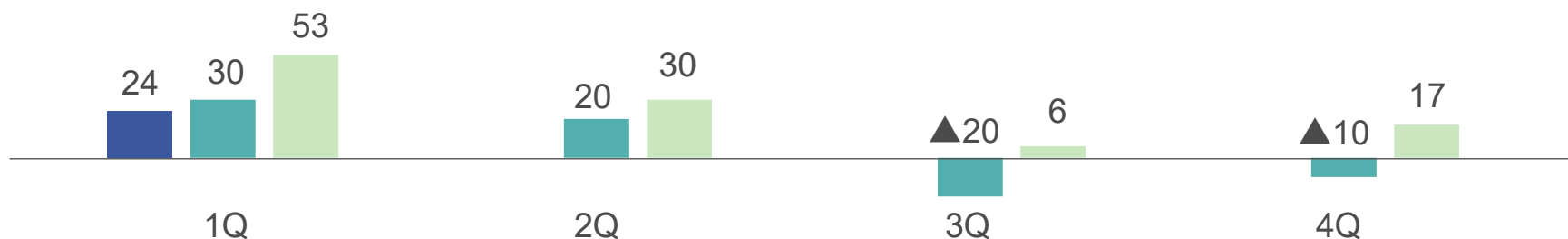
(計画比 ▲6百万円)

(前期比 ▲29百万円)

- メガソーラー事業は、発電機械の修繕や電力会社からの出力抑制が頻発した影響により、利益計画未達となった。
- アドブルー販売は、カーショップ、ホームセンターなどの小売店向けの販売を強化したことにより、利益計画を達成した。

四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位:百万円



※アドブルー(AdBlue):ディーゼル車の排ガス中の窒素酸化物NOxを無害化する「SCRシステム」に使用させる高品位尿素水

営業利益

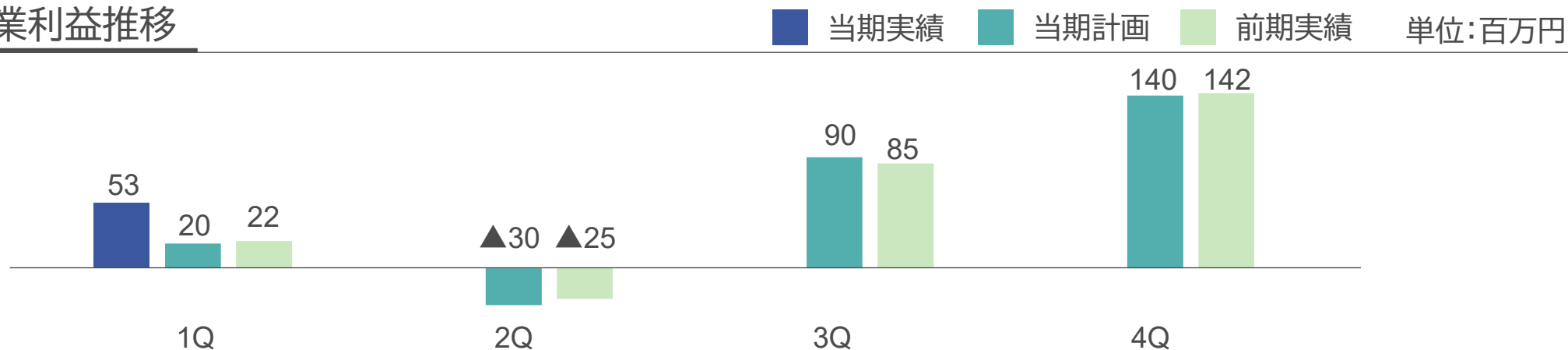
53 百万円

(計画比 +33百万円)

(前期比 +31百万円)

- 前年に比べ4月の気温が低く、LPGと灯油の需要が増加したため、利益計画を大幅に達成した。
- 新規顧客の獲得により売上が増加した。また、投資の効率化を図ることにより、経費を削減した。

四半期別営業利益推移



営業利益

74 百万円

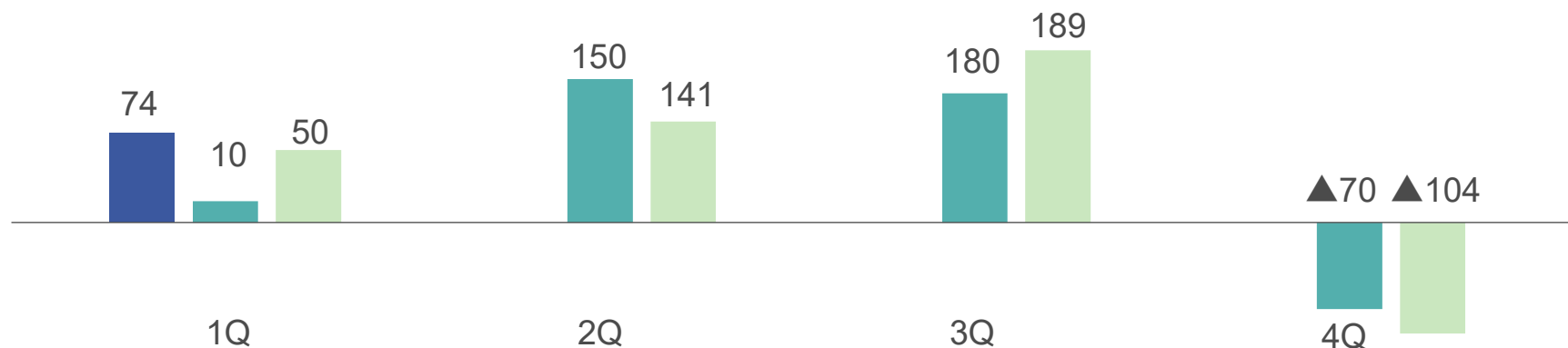
(計画比 +64百万円)

(前期比 +24百万円)

- 民間の解体工事需要が好調であったため、利益計画を大幅達成した。
- 公共工事需要が計画比で堅調に推移した
- 新たな領域の顧客開拓については順調に進捗している

四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位:百万円



- ・資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- ・当資料に記載されている当社の現在の計画等は、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらにより将来予測・業績予想には、リスクや不確定な要因を含んでおります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。